

## 第2部 「目標とする姿」への取組み状況

### ■取組み状況について

「目標とする姿」一つひとつについて、2021年度を含む「主な指標の変化」(2007年度～)と2021年度の特徴的なトピックスを掲載し、現時点での取組み状況の評価を行っています。

#### 【評価方法】

「よくがんばりました」……○が3つ以上

「この調子でがんばろう」…○が1～2つ

「もっとがんばろう」……○と▲が同数、または▲が多い

2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの活動が「規模を縮小しての開催」、または「中止」となりました。

そのため、「参加者数、利用者数、実施数」など、評価の対象として検討が困難なものについては、2021年度においても一部評価の対象から外しています。

## ■目標とする姿（第3章）

- ① 手入れの行き届いた豊かな森が、きれいな空気や水を育んでいます . . . p.7
- ② 里山が様々に利用され、関わる人が増えています . . . p.10
- ③ 使われていない農地の利用が進み、生きものの豊かな田んぼが増えています . . . p.13
- ④ あちこちの川や海辺で、子どもたちの楽しむ声がきこえてきます . . . p.17
- ⑤ コウノトリも住める豊かな生態系が、バランス良く保たれています . . . p.20
- ⑥ 様々な世代の人々が、地域の祭りや行事を楽しみ、未来へとつなげています . . . p.23
- ⑦ 子どもたちが、身近な地域の自然についてよく知り、大切にしています . . . p.26
- ⑧ 市民みんなが、ごみの減量化を実践し、  
一人あたりの排出量が徐々に減っています . . . p.29
- ⑨ 市民みんなが、楽しみながら省エネ行動を実践し、  
再生可能エネルギーの利用も増えています . . . p.32
- ⑩ 環境をよくすることで経済が活性化され、交流も広がっています . . . p.35

## ■取組みの方向

- 1 森林を利用し、保全します
- 2 川や海などの水辺環境を保全します
- 3 様々な生きものが育む豊かな農地を保全します
- 4 農林水産業の新たな担い手を育成します
- 5 生きものがバランス良く生息する自然環境を保全します
- 6 公害や災害を防ぎ住みよい環境を守ります
- 7 地域の文化や景観を保全し、活用します
- 8 地域コミュニティ組織を中心に、地域力を高めます
- 9 環境意識を高める学習・教育を進めます
- 10 環境に関する知を集積し、活かします
- 11 ごみの減量・再資源化を進めます
- 12 省エネルギーに努め、再生可能エネルギーの利用を増やし、地球温暖化防止に努めます
- 13 地産地消を進めます
- 14 環境と経済の共鳴を進めます

# 目標像①

## 手入れの行き届いた豊かな森が、きれいな空気や水を育んでいます

### 【主な取組みの方向】

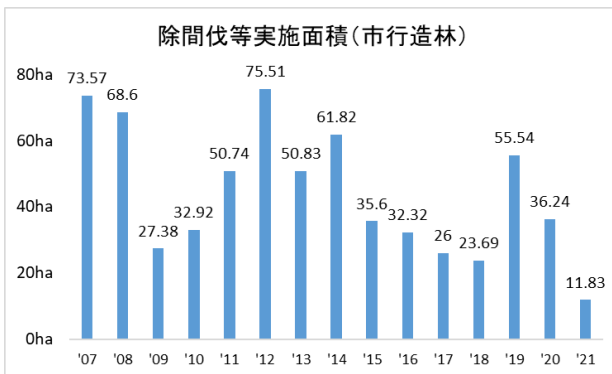
(1) (4) (5) (6) (9)

### 【具体イメージ】

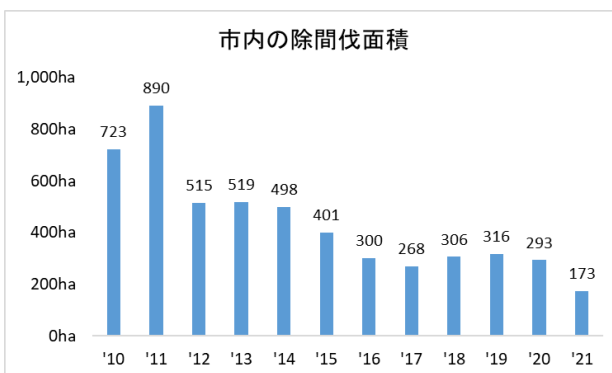
スギやヒノキの林は保育され、広葉樹も植えられています／木材の利用が増えています／パレットストーブなどの利用が家庭や事業所に広がっています

## I 主な指標の変化(2007~2021年度)

### (1) 除間伐と植樹



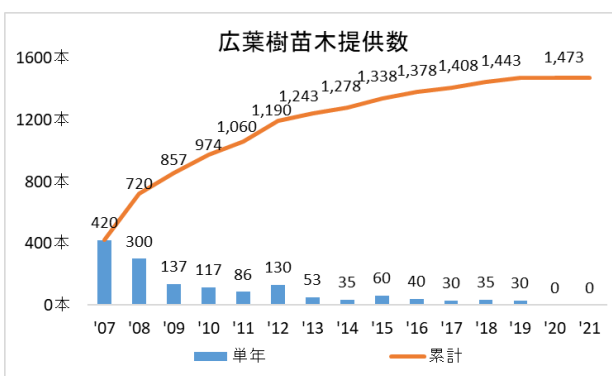
- ・下草の生えた豊かな森林を育てるため、太陽の光が木の根元や地面まで十分に届く環境をつくる「除間伐」を行っています。
- ・「林業の担い手不足」が、間伐面積減少理由の一つに挙げられます。



- ・市、ひょうご農林機構、民間すべての分収造林を含みます。

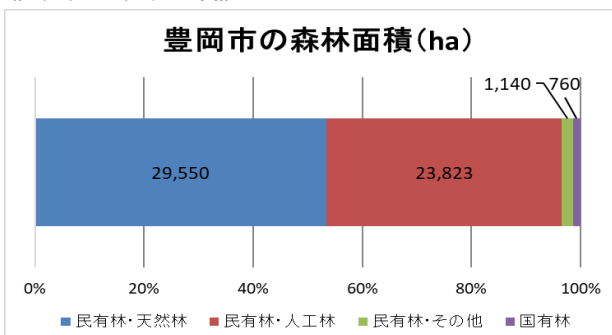
### 【分収造林】

造林者と土地所有者が異なり、両者が造林による収益を分け合う契約をした山林



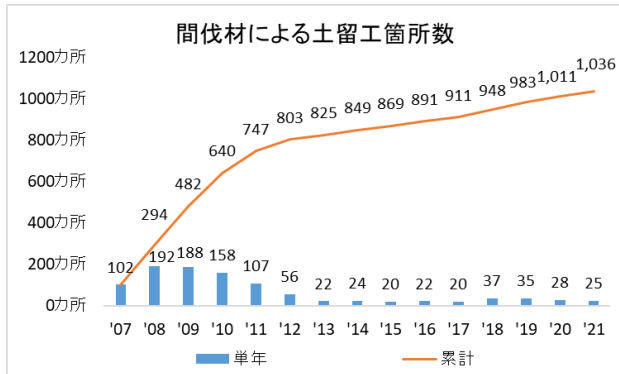
- ・針広混交林化に向けて、広葉樹の植樹を進めています。落葉等で土壌が肥沃になるとともに、下層植生の成長を促し、土壌浸食等の防災効果が高まることが期待されます。また、種組成が豊富になったり、伐期がずれることで長期収入にもつながります。

### 《所有別森林面積》

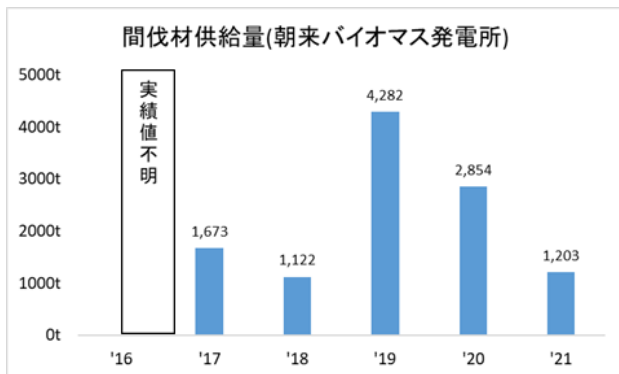


- ・豊岡市の森林面積のうち、約9割が民有林となっています。その内、コナラ林などの天然林が約50%、スギ・ヒノキ林などの針葉樹林が約40%となっています。【出典：兵庫県林業統計書(2022.3月発行)】

## (2) 間伐材の利用

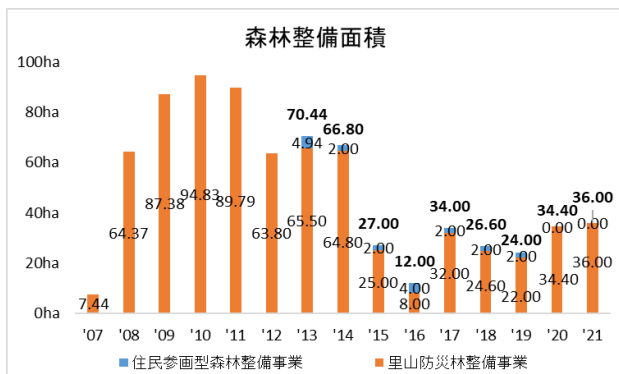


- ・間伐材をそのまま地滑り防止に活用する「土留工」を行っています。

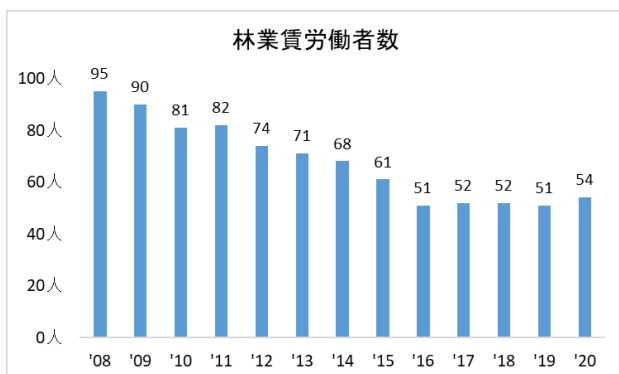


- ・豊岡コウノトリ森林組合から搬出された原木やチップが、朝来市の「バイオマスエネルギー材供給センター」を通じて、朝来バイオマス発電所(2016年12月運転開始)に供給されています。
- ・2019年度は、ペレット原料として市内でストックしていた間伐未利用材を加えて供給したため、一時的に供給量が増えています。
- ・2020年度からは通常の供給体制に戻っていますが、世界的な木材需要の高まりにより、用材としての供給が増え、燃料としての供給が減っています。

## (3) 森林の整備

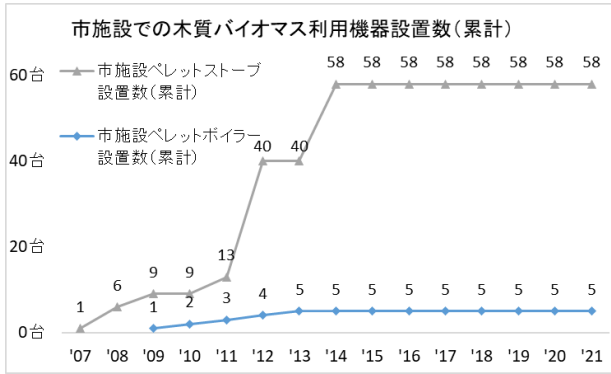


- ・住民参加型森林整備事業は、竹林、枯れ松、危険木伐採等により、集落の安全を確保する1カ年事業です。  
(事業主体：兵庫県、実施主体：区、地域)
- ・里山防災林整備事業は、人家裏山の凹型斜面の崩壊、崩落を防ぐため、危険木伐採や簡易防災施設(丸太柵工等)整備を行います。2カ年事業で、1年目に調査、2年目に整備します。  
(事業主体：兵庫県、実施主体：林業事業体)
- ・2015年から豊岡市以外の地域でも里山防災林整備事業が進んだことによる予算配分のため、豊岡市での里山防災林整備面積が減少しています。

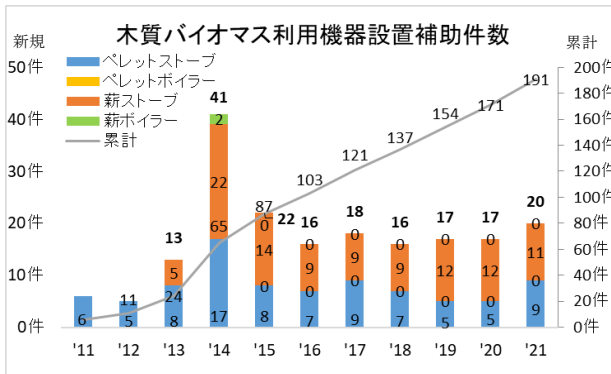


- ・林業就業人口は、2008年から2020年にかけておよそ40人減少しています。【出典：兵庫県林業統計書 2008年度～2021年度発行】  
※1年度遅れでの発行となっている。  
※林業賃労働者の定義は、年間50日以上現場(森林)で作業された方

#### (4) 木質バイオマス機器の利用



・2014年以降、公共施設への木質バイオマス利用機器の設置は行っていませんが、既に設置されている機器を積極的に活用していきます。



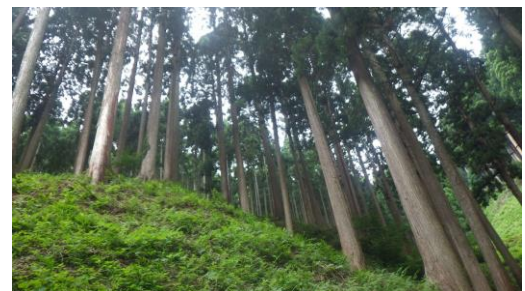
・木質バイオマス(薪、木質ペレット)を燃料に利用するストーブ、ボイラーの利用を進めています。個人住宅、区の集会所、事業所を対象に補助しています。

## Topics

### 森林に手が入らないとどうなる？

森林は、土砂崩れを防ぐ機能や大雨時に水をためる水源かん養機能、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を抑制する機能、豊かな生態系を守る機能など、たくさんの恩恵を人や生きものに与えています。しかし、森林が放置され続けると、木々の茂りすぎにより地表に太陽の光が届かず、下層植生が育たなくなることで、土砂崩れを防ぐ機能や水源かん養機能が失われます。また、木々が込み合うことでお互いの成長を阻んでいる状況は、二酸化炭素の吸収量の低下につながります。

こうした問題を防ぎ、解決していくためにも間伐が欠かせません。適切な間伐を行い、森林の更新を促し続けられる森林マネジメントが求められます。



## 2 2021年度評価

### 評価

- 住宅への木質バイオマス利用機器の設置が広がりつつある。
- ▲間伐材が「用材」として供給・利用されているものの、間伐面積が減少しています。

もっと  
がんばろう

## 目標像②

# 里山が様々に利用され、関わる人が増えています

### 【主な取組みの方向】

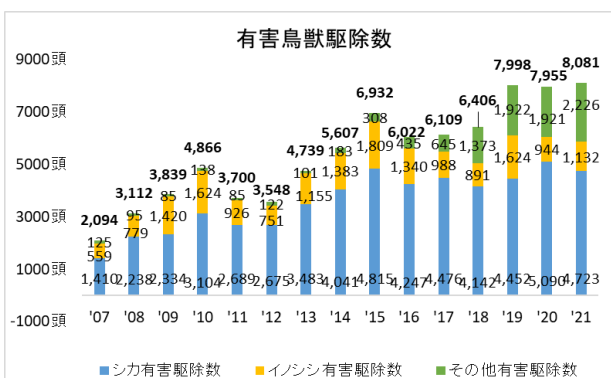
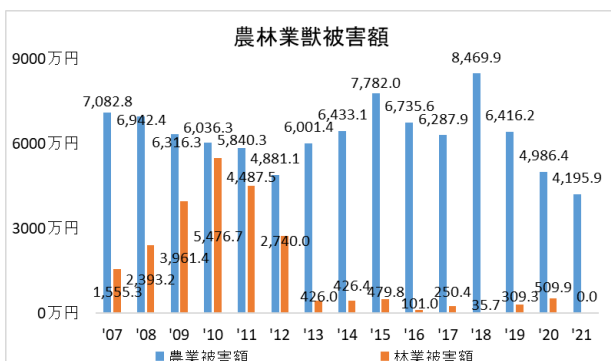
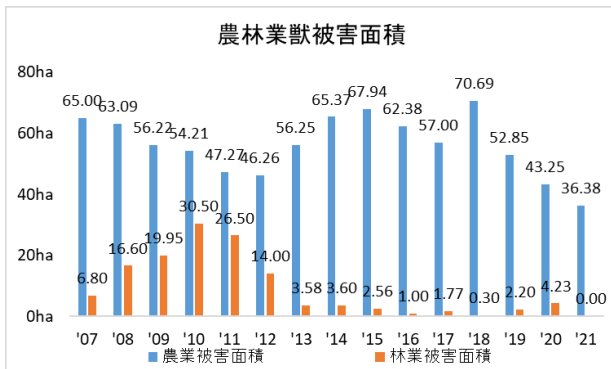
(1) (3) (4) (5) (9)  
(13)

### 【具体イメージ】

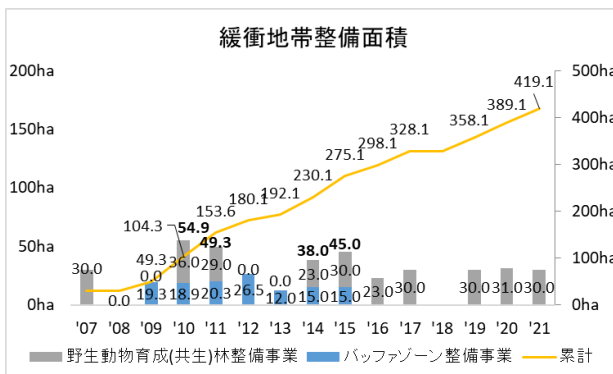
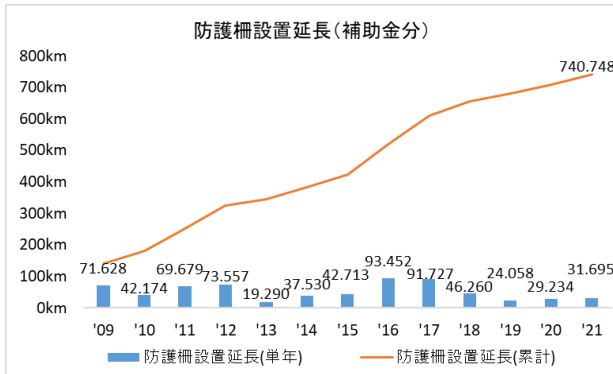
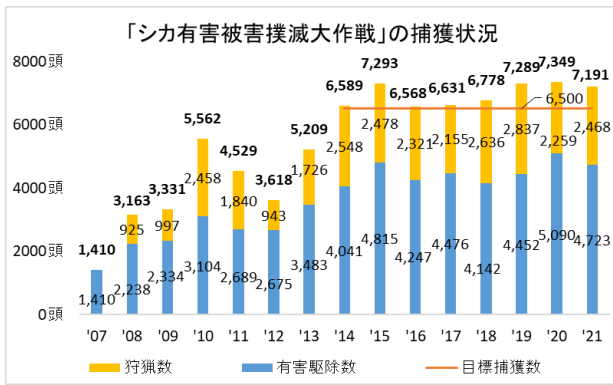
安心して散策を楽しめる里山が増えています／食用の山菜やキノコの知識をもった市民が増えています／森林ツーリズムなどを楽しむために森に入る人が増えています／イノシシやシカは適切に駆除され、肉や皮も多様に活用されています

## I 主な指標の変化(2007～2021 年度)

### (1) 有害鳥獣対策



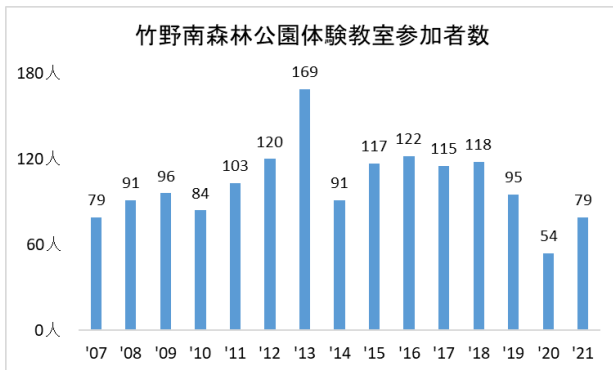
- ・ 林業被害のほとんどはシカによるものですが、2021年度の有害獣林業被害は確認されませんでした。
- ・ 農業被害は、シカやイノシシの他にサルなどの小動物によるものもあります。
- ・ 山奥から人里近くに被害が広がってきています。
- ・ 農家アンケートのため、家庭菜園等の被害は含まれません。
- ・ 2021年度は有害鳥獣駆除数が8,000頭を超えています。
- ・ 「有害鳥獣駆除数」グラフは、有害鳥獣駆除のみの数値で、11月から3月までの狩猟期に個人が捕獲したものは含まれていません。
- ・ 「その他有害駆除数」には、タヌキやアライグマ、ヌートリア、カワウなどが含まれます。
- ・ シカ数は減少してきているものの、ヤマビルやマダニの生息域や個体数が増加しており、今後被害が増加していくことが懸念されます。



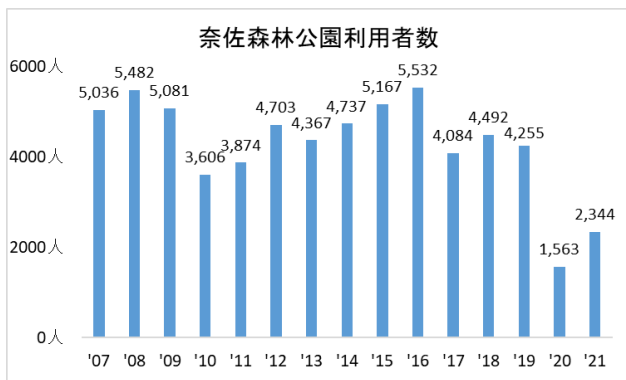
- ・兵庫県が策定する「ニホンジカ管理計画」に基づき、市では、2014年から年間捕獲数6,500頭を目標に、「シカ有害被害撲滅大作戦」を実施しています。
- ・「狩猟数」は、狩猟期(11月～3月)に個人が捕獲した頭数です。
- ・「有害駆除数」は、一般、専任班、捕獲実施隊(市鳥獣害対策員と市担当で編成)が、有害獣として捕獲、駆除した頭数です。
- ・鳥獣保護管理法に基づき、捕獲物等は原則として持ち帰ることとし、やむを得ない場合に限り生態系に影響を与えないような適切な方法で埋設することとされています。

- ・このグラフの緩衝地帯(バッファゾーン)は、野生動物との住み分けを図るため設けられる、幅約20mの見通しの良い地帯を言います。
- ・バッファゾーン整備事業は2009～2015年度まで実施(事業主体：豊岡市)。
- ・野生動物育成(共生)林整備事業は、緩衝地帯と集落防護柵を一体整備する2カ年事業で、1年目に調査、2年目に整備します(事業主体：兵庫県)。
- ・2018年度は調査だけのため実績がありません。

## (2) 森林公園の利用

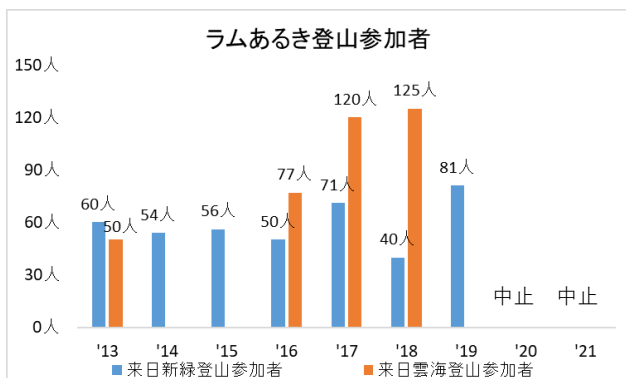


- ・竹野南森林公園では、毎年季節に合わせた体験教室を実施しています。
- ・2020年度は新型コロナウイルス感染症による外出自粛により、参加者数が減りましたが、2021年度は回復しています。



- ・奈佐森林公園においても、2020年度は新型コロナウイルス感染症による外出自粛により、利用者数が減りましたが、2021年度は回復しています。

### (3) 森林ツーリズム



- ・2012年に「円山川下流域・周辺水田」がラムサール条約に登録された翌年から、来日山の山頂からラムサール条約湿地を眺めるイベント「ラムあるき登山」を、5月と10月に地元主催で実施しています。
- ・2020年度および2021年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、新緑登山、雲海登山ともに中止となりました。

## Topics

### 「但東 野あそびくらぶ いつなっと」の活動

「但東 野あそびくらぶ いつなっと」は、自然離れの進む子どもたちに「もっと身近な自然を知って好きになってもらいたい」という思いのもと設立された団体です。草花あそびや出石川の生きものしらべ、竹ご飯づくりなど、里山での自然観察会+体験活動を通して自然の面白さや、生きものたちが複雑に繋がって私たちの生活が支えられていることを伝えています。

また、有害鳥獣として市内で捕獲されたシカやイノシシの肉を参加者の皆さんと調理して美味しく食べながら、山の現状を知り、考えてもらうきっかけ作りにも力を入れています。地域の皆さんのご協力を得ながら、但東の自然と文化を大人も子どもも一緒に体験し、伝えていきたいと活動中です。

子どもたちがいきいきと誇りを持って成長していくことが私たちの願いです。



(文・写真 但東 野あそびくらぶ いつなっと)

### 2 2021年度評価

#### 評価

- シカ有害被害撲滅大作戦の年間捕獲目標数 6,500 頭を達成している。
- 有害鳥獣の捕獲や防護柵の設置、緩衝地帯の整備が進んでおり、農林業被害面積や被害額は減少している。

この調子で  
がんばろう



# 目標像③

## 使われていない農地の利用が進み、生きものの豊かな田んぼが増えています

### 【主な取組みの方向】

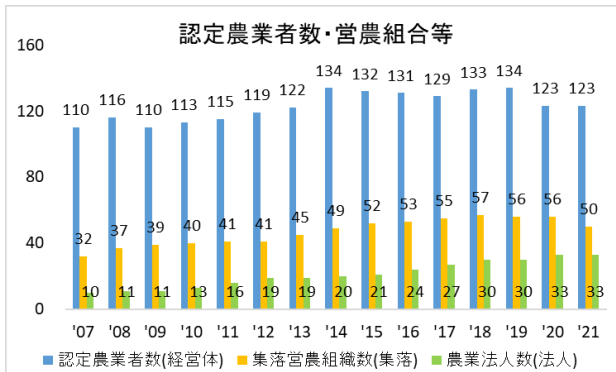
(3) (4) (5) (9) (10)  
(13)

### 【具体イメージ】

農薬や化学肥料に頼らない農業が広がっています／就農する若い人が増えています／学校や家庭の食卓に豊岡でとれた安全安心な食材が並んでいます／多様な生きものと触れ合う子どもの姿をよく見かけます／ビオトープ水田など様々な使われ方で農地が活かされています

## I 主な指標の変化(2007~2021年度)

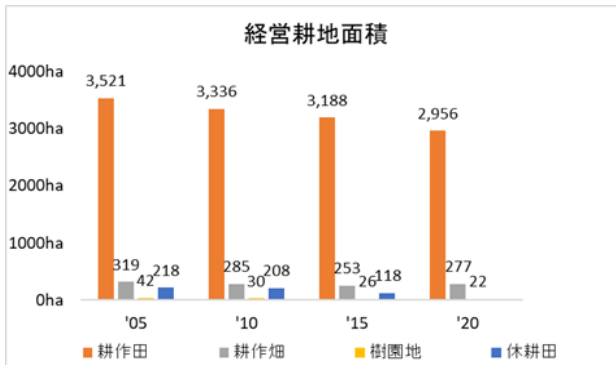
### (1) 豊岡の農業の現状



・就農者の高齢化や減少が進む中で大規模集約化の方向にあります。

### 【認定農業者】

農業経営改善計画を市町村に提出し、認定を受けた農業経営者・農業生産法人

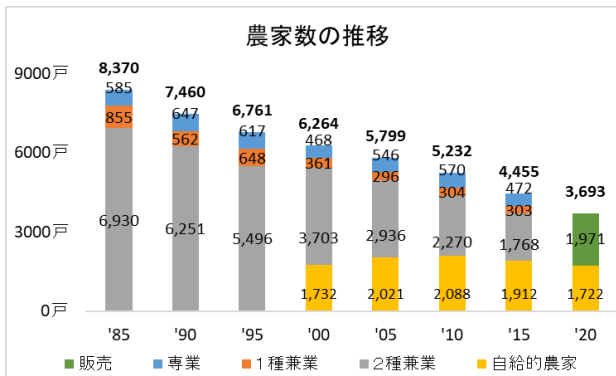


### 【経営耕地面積】

農家が経営する耕地の面積

2020年から集計方法が変更。経営耕地のある経営体の数と経営耕地面積を把握（休耕地面積は把握せず）

・2000年以降の専業、兼業農家は「販売農家」に限られ、自給的農家の専業別調査が簡素化されました。



・2020年から集計方法の変更に伴い、専業、兼業別の把握が廃止となり、「販売農家」の枠組みでの把握となっています。

・高齢化や担い手不足により農家数が減少していると考えられます。

・「経営耕地面積」及び「農家数の推移」は、5年に一度行われる農林業センサスの結果を記載しています。

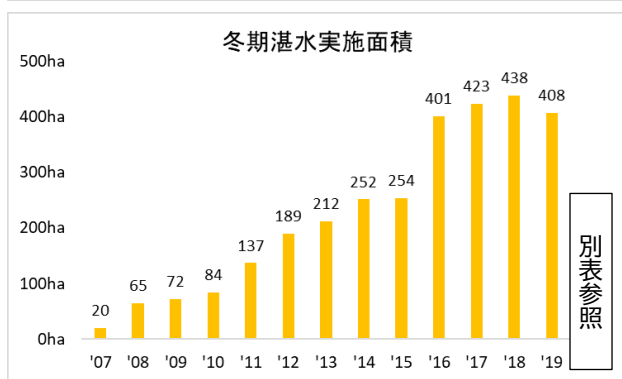
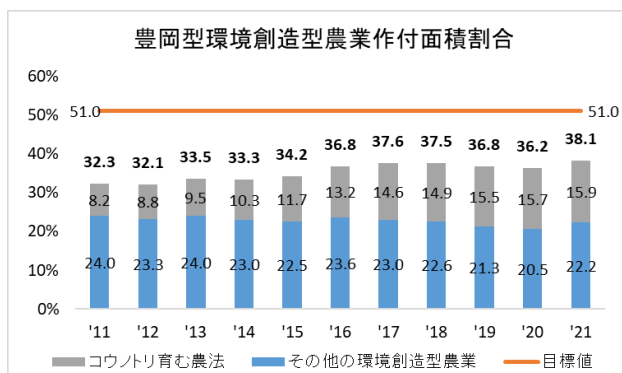
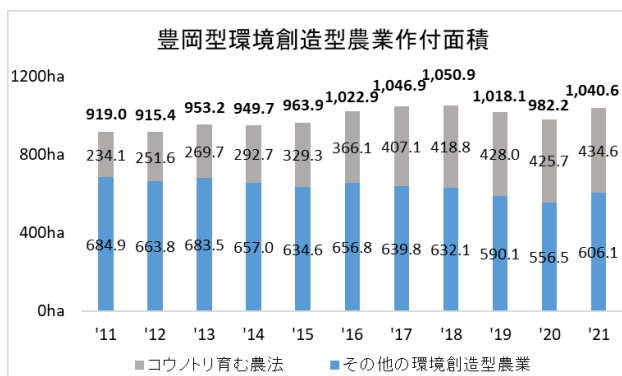
【第1種兼業農家】 農業所得を主とする兼業農家

【第2種兼業農家】 農業所得を従とする兼業農家

【販売農家】 経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家

【自給的農家】 経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家

## (2) 環境にやさしい農業



・「コウノトリ育む農法」をシンボルに、新たな栽培方法を導入するなどして、「豊岡型環境創造型農業」〔農薬、化学肥料 50%以上減(慣行農法比)〕の普及拡大を図っています。

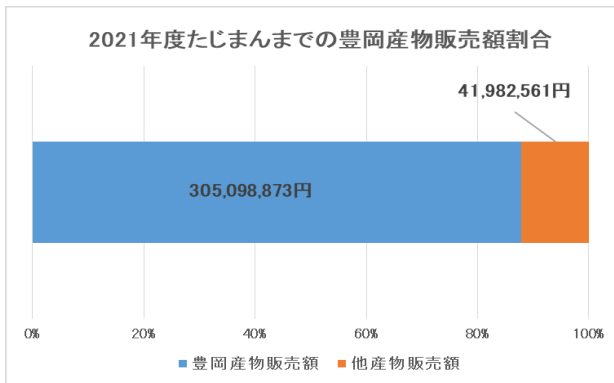
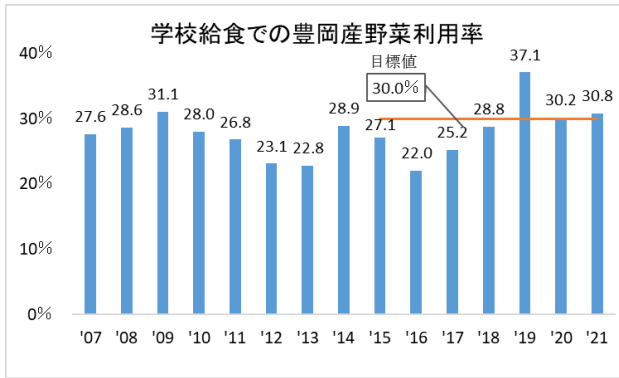
・冬期湛水は、冬にも田んぼに水を張ることです。生きものが豊かになり肥料分を含むトロトロ層(2~5cm)ができることで雑草の種子が発芽しにくく、抑草効果もあります。

・2020年度から、冬期湛水実施面積のデータ元である環境保全型農業直接支払交付金の制度変更に伴い、集計方法が変更となったことから、実施面積が減少しました(別表で記載)。

### 《2020年度以降の冬期湛水面積》

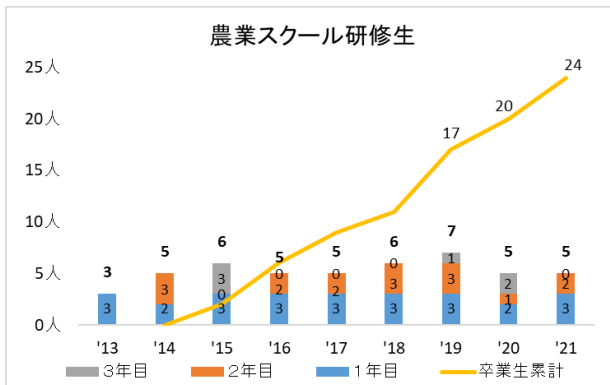
年度	2020年度	2021年度
面積	338ha	342ha

### (3) 地産地消



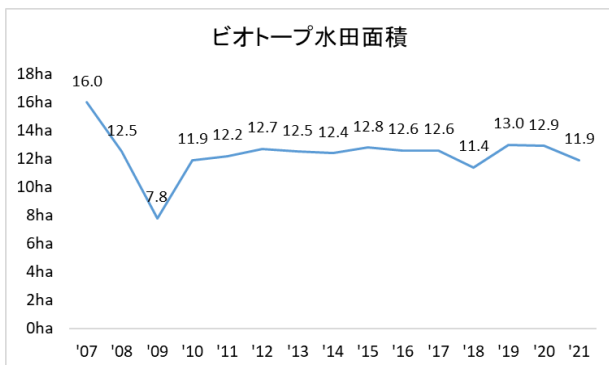
- ・豊岡産野菜は、「国民健康・栄養調査(厚生労働省)」の野菜の定義に則っています。いも類、果実類、きのこ類は含まれません。
- ・利用率は重量で計算しており、2015年度から「30%以上の利用」を豊岡市独自の目標として設定しています。
- ・地元生産者がピーマンなどを寄付する、児童たちが自分たちで作った野菜を調理して食べるなどの取組みも行われています。
- ・2016年度から、週5回全ての米飯給食でコウノトリ育むお米(減農薬)を利用しています。
- ・2021年度のたじまんま豊岡店における豊岡産物販売額(生産者からの委託販売分)割合です。野菜や花、加工品が含まれます。

### (4) 農業スクール研修生



- ・新規就農希望者が、就農に必要な生産技術と経営能力の習得を目指し、1年間(更新で最長3年間)学びます。
- ・卒業生は、雇用就農、独立自営就農とそれぞれ市内で就農しています。
- ・2021年度は4名が卒業しました。

### (5) 休耕田の利活用



- ・多様な生きものを育む「ビオトープ(生きものがすむ場所)水田」として市と管理委託契約を結んでいます。
- ・ビオトープ水田から田んぼに復田することもあります。
- ・小学校区ごとの面積及び2021年度に面積が減少した理由については、目標像⑦(p.28)に掲載しています。

## 「グッドローカル農業推進室」発足

2021年4月、市役所農林水産課に「グッドローカル農業推進室」が発足しました。豊岡市農業ビジョンにて定めた農業の将来像「豊岡グッドローカル農業（GLA）＝『環境』『経済』『社会』をより良くし、持続可能で幸せを感じる社会の実現に貢献する農業のあり方」を推進しています。農業ビジョンでは、『環境』『経済』『社会』の視点ごとに4つずつ、グラフ記載の12の農業の姿（12要素）を設定し、“みんな”で各要素の実現に貢献する取組を行うことで「豊岡グッドローカル農業」を目指します。

「コウノトリ育む農法の面積を広げる」  
 「農業の担い手を確保、育成する」「地元農産物の消費を心がける」「豊岡の農業・農村の魅力を発信する」など、豊岡市の農業に関わるすべての人々が、各自の立場や状況に応じて、できることから取り組むことが大切です。

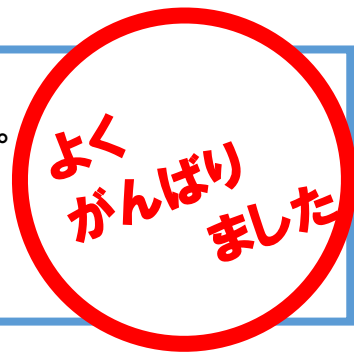
取組の輪を広げ、長期的には、「豊岡グッドローカル農業」が全国に知られ、世界に認められ、豊岡の農業や都市の価値が高まることを目指します。



## 2 2021 年度評価

### 評価

- 学校給食での豊岡産野菜利用率が目標利用率を達成している。
- たじまんま豊岡店での委託販売における豊岡産物割合が8割を超えている。
- 豊岡型環境創造型農業作付面積及び割合が増加している。



## 目標像④

# あちこちの川や海辺で、子どもたちの楽しむ声がきこえてきます

### 【主な取組みの方向】

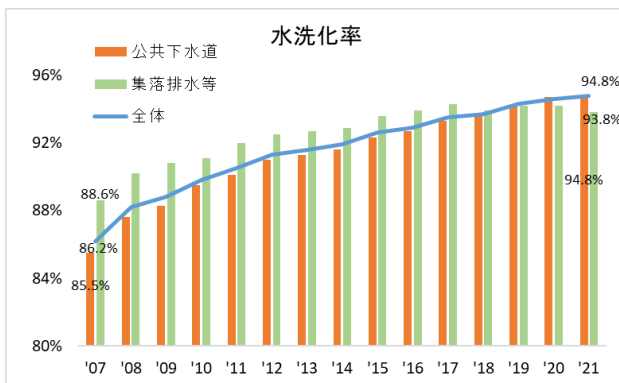
(2) (3) (5) (8) (9)  
(11)

### 【具体イメージ】

市民みんなの協力で川や海がきれいになりました／ポイ捨てをしないという意識が高まり水辺のごみが少なくなっています／水質が改善し、川にはたくさんの魚が泳いでいます／子どもたちが日常的に魚をとったり水辺で遊ぶ姿を見かけています

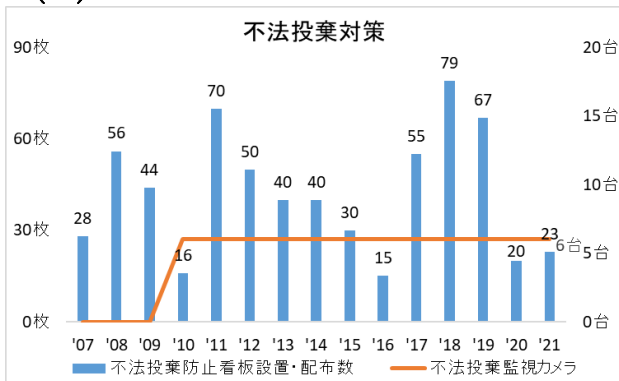
## I 主な指標の変化(2007～2021年度)

### (1) 川の水質保全



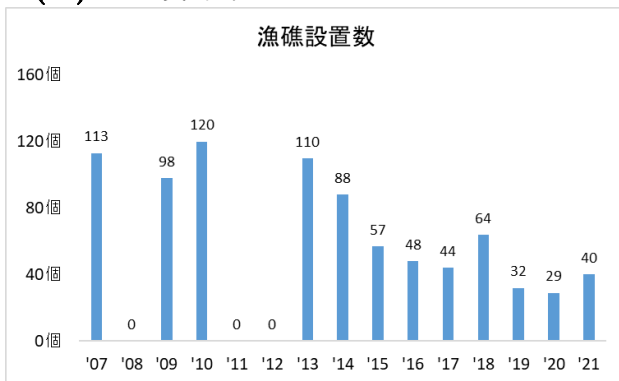
- ・河川の水質浄化につながる「水質浄化率」は、95%を目標にしています。

### (2) 不法投棄対策

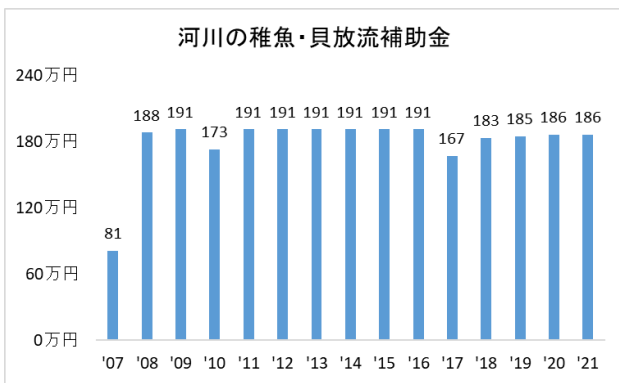


- ・不法投棄防止看板や監視カメラを河川敷や峠などに設置しています。
- ・家庭ごみから自転車まで、さまざまなごみが捨てられています。
- ・市のパトロール班が定期的に巡回しています。

### (3) 水産資源保全

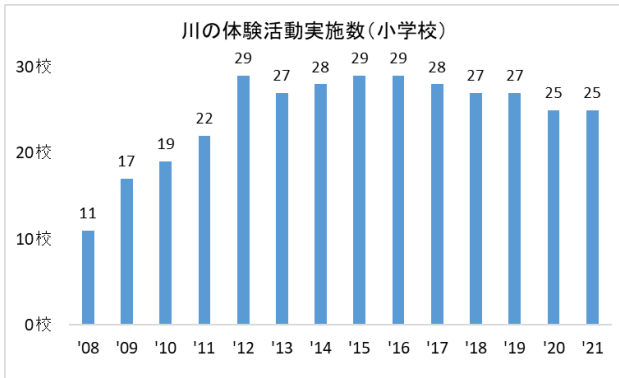


- ・漁礁は、魚類の繁殖と生活のために人為的に海中など水中に設置される魚類のすみか(巣)や集まる場となるものです。
- ・2019年度は漁礁設置効果調査が実施されたり、設置する漁礁のサイズが大きくなったことにより設置数が減っています。
- ・2020年度も2019年度と同様の漁礁サイズです。



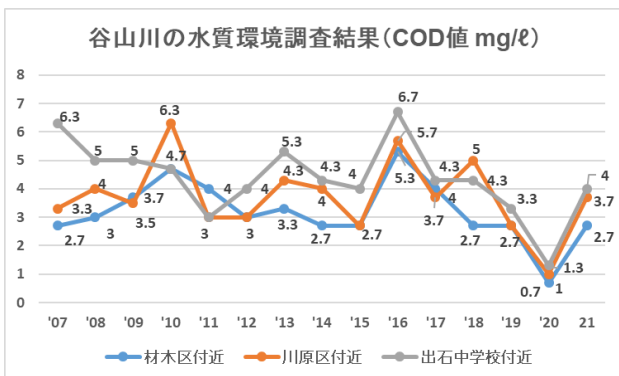
- ・豊岡市が、円山川漁業協同組合(アユ、ハマグリ)と竹野川漁業協同組合(アユ、アマゴ)に補助しています。

#### (4) 子どもたちの体験活動等



- ・2007年度に兵庫県下で「環境体験学習(小学3年生対象)」が導入されたこともあり、授業で自然体験が取り入れられています。
- ・学校での活動の他、民間団体等も体験活動を実施しています。

※市内の小学校数は、2012年まで30校、2013年から2020年まで29校、2021年から27校



- ・国土交通省が毎年実施している「身近な水環境の全国一斉調査」に併せ、2007年度から環境ネット出石が子どもたちと一緒に谷山川の水質調査や生きもの調査を実施しています。

- ・CODとは水中の有機物残存量を示すもので、値が低いほど水質が良いということを示しますが、直前の天候や水量によって数値に影響が出る場合があります。

#### (5) 清掃活動

川沿いや海水浴場のある浜などで、地域住民やボランティアなどによる清掃活動が毎年行われています。2021年度においては、「円山川菜の花の会」による円山川での清掃活動が規模を縮小して開催されたり、豊岡総合高校インターアクトクラブ主催の竹野海岸漂着ごみ回収(約180人が参加)が開催されるなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら清掃活動を実施されました。

また、新たな清掃活動として、豊岡小学校の学年PTA活動での竹野海岸清掃活動が行われました。近畿大学附属豊岡高等学校の自然科学部と連携しており、単に清掃活動をするだけでなく、環境問題について実情に触れ、学びながらの活動となりました。2021年度は豊岡市主催の清掃活動(竹野海岸)も実施しており、今後も事業展開していきます。ボランティアで清掃活動をしてくださる市民や事業者がいることで、海や河川がきれいに保たれています。回収されている方々を頼るだけでなく、すべての人が【ごみを出さない】という努力をすることも求められます。

## 《活動例》

### 川清掃

清掃場所	活動主体	活動実施日
円山川河川敷	円山川菜の花の会	4月29日
谷山川	谷山川を育む会・まもり隊	毎月10日
	豊岡市商工会出石支部	年1回

### 浜清掃

清掃場所	活動主体	活動実施日
気比の浜、田結の浜	港中学校、港小学校、港認定こども園、区長会等	6月26日
竹野海岸	竹野海岸ボランティアクラブ 豊岡総合高校インターアクトクラブ	3月21日
	豊岡小学校学年PTA活動	11月23日
	豊岡市	10月9日

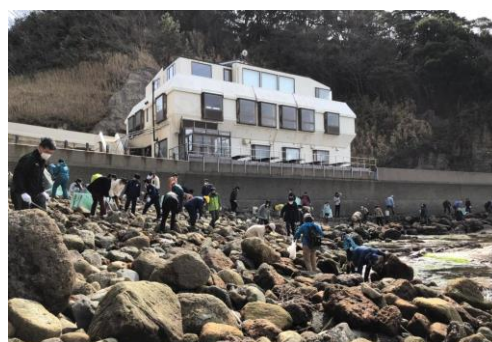
## 竹野海岸での清掃活動

# Topics

竹野海岸や竹野浜では、毎年多くの方が清掃活動を実施されます。言い換えると、毎年清掃活動をしなないといけない程、多くのごみが漂着しているということです。

豊岡総合高等学校インターアクトクラブの主催で実施された清掃活動では、市内外から約180人の方々が集結し、漁具の浮きやロープ、ドラム缶やたくさんのペットボトルなど、2トントラック2台分のごみを回収しました。しかし、地面を埋め尽くすほどの細かくなった発泡スチロールなどは完全に取りきることは出来ません。

誰もが「まずは出さない」という意識を持つためにも、定期的に清掃活動を展開し、関わる人を増やしながら、透き通るような美しい竹野の海を守っていきます。



## 2 2021年度評価

### 評価

- 子どもたちの川での体験活動が定着している。
- 清掃活動に取り組む方々が増えている。
- ▲不法投棄を減らすための対策を講じているが、状況は改善していない。

この調子で  
がんばろう

## 目標像⑤

# コウノトリも住める豊かな生態系が、バランスよく保たれています

### 【主な取組みの方向】

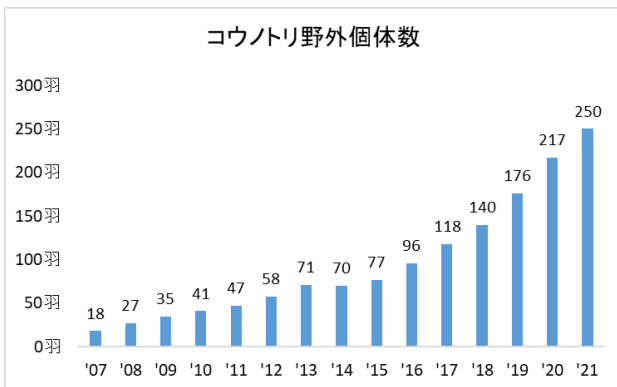
(1) (2) (3) (4) (5)  
(7) (8) (9) (10) (14)

### 【具体イメージ】

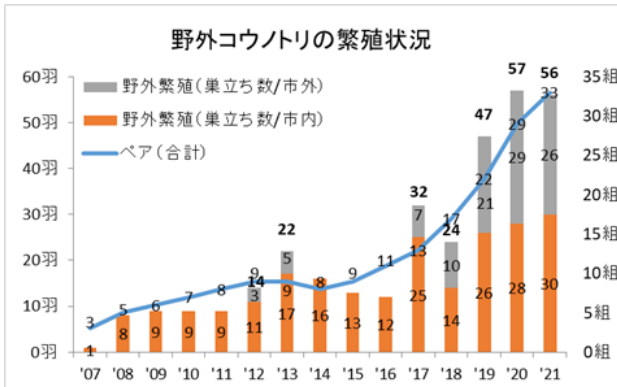
コウノトリ育む農法や市民に守られた湿地が市内全域に広がっています／コウノトリのエサになる生きものが増え、生態系のバランスが保たれています／コウノトリが市内各地に舞い降りています／コウノトリも住める豊かな環境づくりの取組みがさらに進んでいます

## I 主な指標の変化(2007～2021 年度)

### (1) 野外的コウノトリの状況

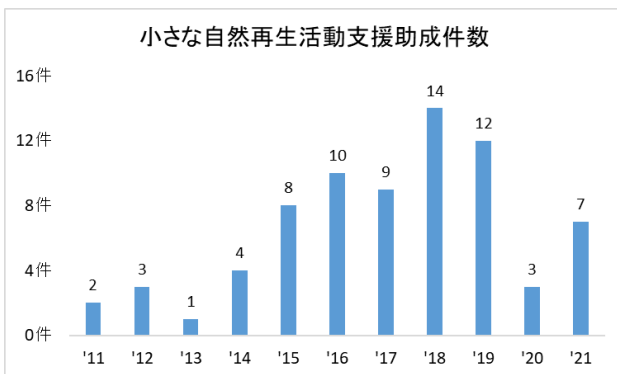


- ・2005年の試験放鳥から、野外コウノトリの自然繁殖も進み、個体数は順調に増加しています。
- ・野生復帰したコウノトリは、市内だけでなく、全国各地を訪れています。2017年度には、47都道府県全てでコウノトリの飛来が確認されました。
- ・常時60羽程度のコウノトリが市内に生息していると推測されています。



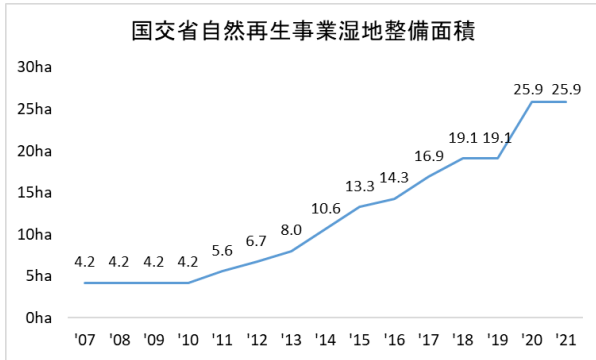
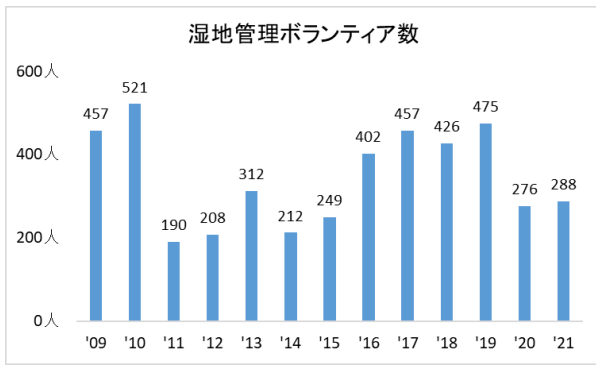
- ・2021年度の野外繁殖地(市外)は、養父市、朝来市、淡路市、福井県越前市、小浜市、京都府京丹後市、綾部市、鳥取県鳥取市、島根県雲南市、徳島県鳴門市、栃木県小山市です。
- ・繁殖ペアが増えてきた一方、巣立ち後の幼鳥が防獣ネットや電気柵に絡まり、救護・死亡する事例が増加しています。

### (2) コウノトリが生息できる環境の整備



- ・小グループで身近な自然を再生する「小さな自然再生活動(ビオトープづくり、外来生物の除去など)」を支援しています。
- ・2019年度から、補助上限額が10万円から5万円に変更になりました。
- ・2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策による活動自粛により申請件数が減少しましたが、2021年は4件増加しました。





- ・戸島、田結、加陽などの湿地では、市内外からのボランティアを受け入れ、湿地づくりや外来種駆除などの保全・管理作業を進めています。
- ・2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、ボランティアの活動自体が少なく、参加者数も減少しており、2021年度も同数程度となりました。
- ・豊岡河川国道事務所(国土交通省)は、円山川水系河川整備事業の一環として、湿地の整備を行っています。
- ・2020年度に正確な湿地整備面積が算出されたことにより、面積が大きく増加しています。



※国土交通省豊岡河川国道事務所「円山川水系河川整備計画（国管理区間）の概要」

[https://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/maruyamagawa/pdf/38\\_KASENSEIBI\\_KEIKAKU\\_GAIYOU.pdf](https://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/maruyamagawa/pdf/38_KASENSEIBI_KEIKAKU_GAIYOU.pdf) から抜粋

※現在整備事業中の箇所も含まれます。

## 豊岡自然再生アクションプランに取り組む地域

「豊岡自然再生アクションプラン」とは、効果的に自然再生に取り組むことで、豊かな自然を取り戻そうという計画です。出石町日野辺区と鳥居区は効果的な自然再生に取り組むための試験的なエリアに選定されています。これらのエリアでは、稲刈り後の水田にわざとトラクターのわだちを残して水をたまりやすくするなど、簡単な工夫で水生生物の生息場所を創り出す取り組みが行われています。



休耕田を利用して作られたビオトープでは、生きものの生息場所として機能しているか確認するため、小さな子どもからご高齢の方が一緒になって生きもの調査を実施されました。調査では、カエルやミズカマキリ、ゲンゴロウの仲間や魚など、たくさんの生きものが確認でき、豊かな水辺環境が戻ってきています。



かつてコウノトリが悠然と空を舞っていたころの豊かな自然が戻るよう、取り組みを続けていきます。

## 2 2021 年度評価

### 評価

- 市内でコウノトリが順調に繁殖している。
- 円山川自然再生事業により、湿地の改良と造成が行われ、ボランティア等による湿地保全活動が継続されている。
- ▲外来種駆除が難航している。

この調子で  
がんばろう

※外来種とは、もともとその地域に生息・生育していないのに、人間の活動により意図的・非意図的に持ち込まれた生きもののことです。中でも、在来の生きものに悪影響を及ぼす外来種を侵略的外来種と呼びます。豊岡市では写真のような外来種が生息・生育しています。



ブルーギル  
©北垣和也



ヌートリア  
©北垣和也



カダヤシ  
©北垣和也



オオフサモ



オオキンケイギク

## 目標像⑥

# 様々な世代の人々が、地域の祭りや行事を楽しみ、未来へとつなげています

### 【主な取組みの方向】

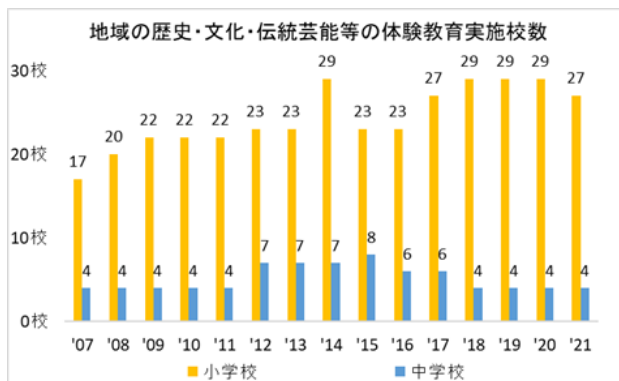
(7) (8) (9)

### 【具体イメージ】

地域の祭りや伝統行事のことを、おじいちゃんやおばあちゃんが孫に語りかけています／子どもたちが地域の祭りに参加して楽しんでいます／地域の誰もが、地域の文化や歴史に関心を持ち、誇りに感じています

## I 主な指標の変化(2007～2021年度)

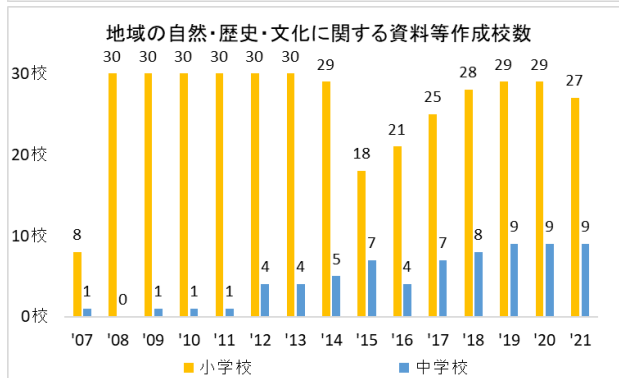
### (1) 地域を学ぶ機会



・学校教育の中では、“地域を知る”という視点を意識して地域の「歴史・文化・伝統芸能」の体験教育に取り組んでいます。

※市内の小学校数は、2012年まで30校、2013年から2020年まで29校、2021年から27校

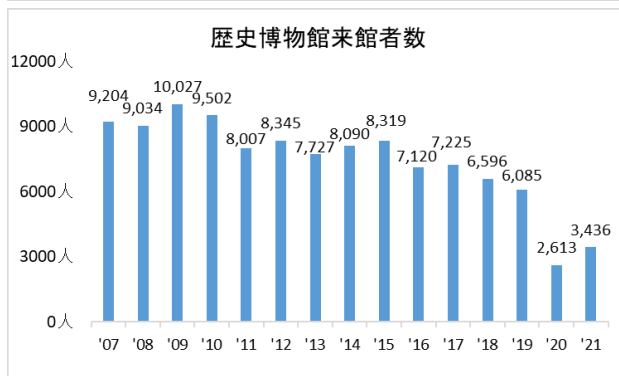
※市内の中学校数は、2014年まで10校、2015年から9校



・2019年4月26日にリニューアルオープンしました(改装工事のため、2月20日～4月25日まで休館)。

・2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、来館者数が減少しましたが、2021年度は増加しています。

・2021年度は公開講座の件数及び参加人数が大きく増加しています。



歴史博物館「但馬国府・国分寺館」では、公開講座を実施しています。

年度	2019年度	2020年度	2021年度
公開講座	5件	5件	14件
参加人数	147人	28人	220人

### (2) 豊岡市の無形民俗文化財

第3部「豊岡市の環境の状況」(p.49)参照

### (3) 地域コミュニティ

地域コミュニティづくりは、若者から高齢者まで、男性も女性も、多様な住民が参画しながら地域の未来を見据えて住民自治を進める取り組みです。地域コミュニティ組織では、自ら「地域づくり」や「課題解決」を行っています。

#### <地域コミュニティの行事事例>

各区では、地域の歴史・文化等に関する行事や広い世代の交流行事が行われています。

出典：2021年度地域コミュニティ組織活動事例集

#### 【コミュニティ三方「三方ふるさとカルタの完成」】



地区の皆さんに、自分たちの住む地域を知り、関心を持っていただくことを目的に「三方ふるさとカルタ」の作成に取り組みました。

区長さんや文化・教養部の皆さんを中心に、自区の歴史や行事、自慢スポットなど2~3点を選んでいただき、絵札も各区に依頼し描いていただきました。

三方全域に関する絵札については日高西中学校の生徒さんに、化粧箱や絵札の裏を飾る絵は三方小学校の全児童の皆さんに描いてもらいました。

読み札は、「三方村史」「日高辞典」などを参考に、地域の方が作られたものも入れながら、役員会が中心になって作成しました。

#### 【床尾の里てらさか「桐野城址について学ぼう！」】

桐野城は出石川の左岸、桐野区の北東に位置し、西城（標高148m）東城（標高100m）からなり、丹波・丹後方面と出石を結ぶ京街道に接する場所にあります。山名氏の居城である有子山の支城のひとつとして京街道を抑える重要な役割を担っていたと考えられているのが桐野城です。

4月11日、好天に恵まれ、山名氏城址保存会の西尾孝昌氏に引率をお願いして、大人19名、小学生5名の参加で現地をめぐり説明をしていただきました。急斜面に苦勞しながらの行程でしたが、頂上からは確かに街道筋が一望でき桐野城の重要性をうかがい知ることができました。



他の地域コミュニティの活動事例については、豊岡市地域コミュニティ HP（右記二次元バーコード）からご覧いただけます。



# Topics①

## 竹野焼板イベント「あつまれ～!ヤキータ!」開催

2021年10月、NPO法人たけのかぞく主催による焼板づくりイベント「あつまれ～!ヤキータ!」が開催されました。「焼板」とは、スギ板の表面を焼いたもので、表面に炭下層ができることで耐久性が高まります。焼板を外壁に使用した家が立ち並ぶ「竹野のまちなみ」を次世代にも伝えたいという想いのもと、竹野の焼板文化を愛する人々を「ヤキータ」と名付けて参加者を募集しました。当日は、焼板のまちなみを散策し、地元の大工さんに焼板のお話を聞いた後、実際に焼板づくりに挑戦しました。地元住民、芸術文化観光専門職大学の学生、地域おこし協力隊、市外の高専の学生など、約60人が集まり、焼板の伝統を体感、共有する機会となりました。今後も、楽しみながら「ヤキータ」文化が継承されていくことを期待します。



(写真 NPO 法人たけのかぞく)

## コミュニティ城崎「縁が和プロジェクト」

このプロジェクトは公園の清掃活動で集めた落ち葉を活かし中学生が中心になって腐葉土をつくることから始まります。腐葉土は、①高齢者等へのプレゼント、②街や学校を彩る花のプランターの植えつけ、③地元農家の野菜づくりなどいろいろな団体、グループから個人にまで、少しずつ様々な形で利用されています。

たとえば、①は、豊岡市社会福祉協議会などが一人暮らしの方へ配るもので、2021年はサクラソウの鉢植えを贈りましたが、植え込み時に腐葉土を加え、中学生の手描きメッセージも添えました。腐葉土が使われたことで、清掃活動のみに参加した人も一人暮らしの高齢者と縁がつながりました。③では、この腐葉土で育てた野菜を「縁が和野菜」と名づけ、コミュニティ城崎が主催する『湯ったり朝市』で販売を開始。地域経済の活性化にも貢献しつつあります。その時々無理せずやれることの積み重ねが、多くの人が関わりやすく、次の取り組みを生み出すポイントといえそうです。



(文・写真 コミュニティ城崎)

## 2 2021 年度評価

### 評価

- 各地域コミュニティで特色のある活動が行われている。
- 地域の自然・歴史・文化に関する資料を作成し、地域を学ぶことが子どもたちに浸透している。
- 歴史博物館「但馬国府・国分寺館」における公開講座の開催数と参加者数が増加している。
- ▲少子化、高齢化の進行により、伝統行事の継続が難しくなっている。



# 目標像⑦

## 子どもたちが、身近な地域の自然についてよく知り、大切にしています

### 【主な取組みの方向】

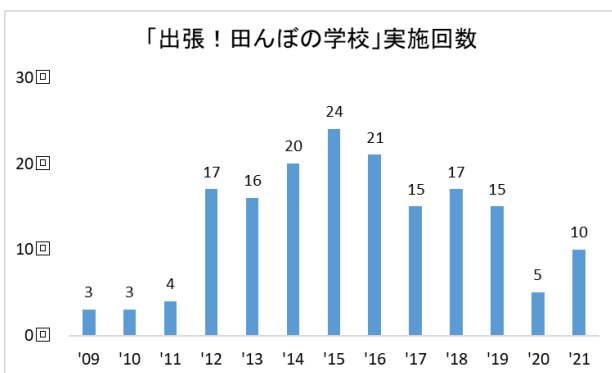
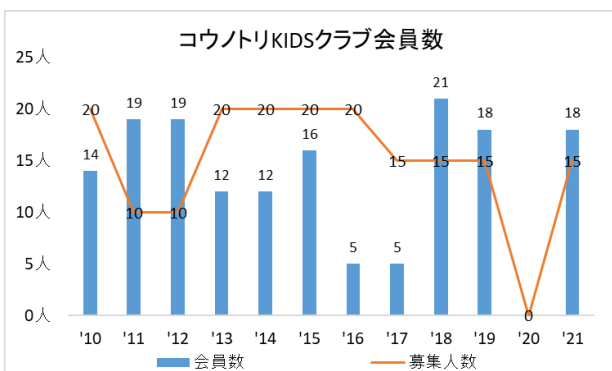
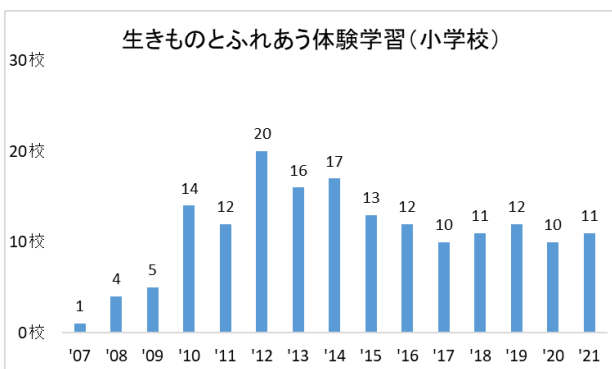
(1) (2) (3) (4) (5)  
(8) (9) (10) (14)

### 【具体イメージ】

地域の環境をよくする取組みが広がり、自然が豊かになっています／自然のことをたくさん学んだ子どもたちがよく外遊びをしています／子どもたちを地域の人が見守っています

## I 主な指標の変化(2007～2021 年度)

### (1) 自然を学ぶ機会



・小学校の生きもの調査のなかで、市が指導を担当した数です。独自に実施している学校もあります。

※市内の小学校数は、2012年まで30校、2013年から2020年まで29校、2021年から27校

・コウノトリ KIDS クラブは、コウノトリとその生息を支える自然を深く学ぶ、市主催の活動です。

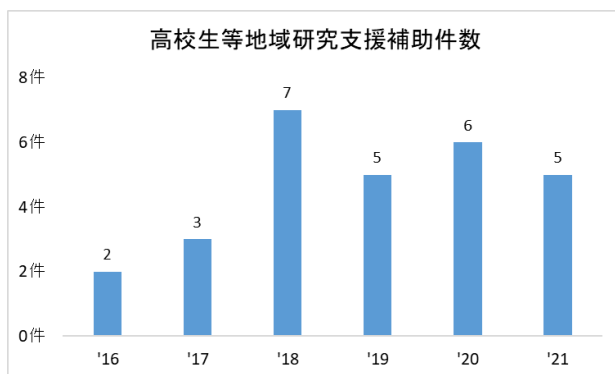
・対象：市内小学4～6年生

・2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、コウノトリ KIDS クラブの募集が取りやめとなりました。

・2021年度から再開し、募集人数を上回る18人が参加しています。

・「出張！田んぼの学校」では、NPO 法人コウノトリ市民研究所のスタッフが、各地域の主催で行われる生きもの調査に講師として出向きます。

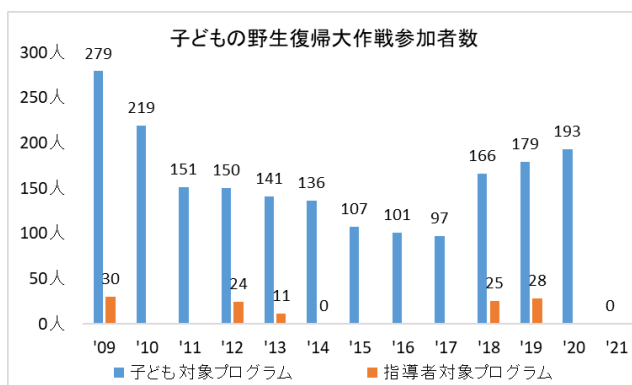
・2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、実施する団体数が減少しましたが、2021年度は増加しています。



- ・高等学校、高等専修学校の生徒が行うふるさと豊岡の誇りであるコウノトリ等に関連する研究や調査、活動等を支援しています。
- ・ふるさとの知見を深め、将来に渡って豊岡とつながりを持ち、取組みに参加する若者を増やすことが目的です。

### 《2021年度の研究》

申請者	研究タイトル	内容
クラーク記念国際高等学校豊岡キャンパス	特別活動「豊岡のコウノトリについて学ぼう」	ハチゴロウの戸島湿地における講話や湿地保全活動を通して、コウノトリにとって住みよい環境をつくるのが、自身の生活にどう影響していくか学んだ。
豊岡総合高等学校インターアクトクラブ	高校生の湿地などでの環境保全・調査観察活動	市内の湿地において、多様な主体と連携し、外来種駆除、希少種保全、里山整備を実施し、ラムサール活動報告会(兵庫県主催)にて発表を行った。
豊岡総合高等学校	持続可能な開発目標の達成を目的とした環境保全活動・実地調査・有識者講話	施設見学や有識者講話などを通して、コウノトリを取り巻く自然環境と環境破壊について学び、多くの生きものと共存する環境づくりを実感した。
出石特別支援学校	「コウノトリはばたけ学習」(コウノトリの観察等)	出石町水上区や袴狭区のコウノトリを観察し、自然を愛する気持ちを育みながら、活動資料を作成し、地域に対して普及啓発を行った。
大岡学園高等専修学校	戸牧川及び周辺河川の生態調査	戸牧川で生きものが生息していくための環境資源を調査研究(河川環境や生きものの生息状況の把握等)し、河川の将来像について考えた。



- ・子ども対象プログラムは、2017年度までは「子どもコース」と「家族コース」の合計、2018年度からは「周年型プログラム」と「単発型プログラム」の合計です。
- ・子ども対象プログラムでは、市内各地域での活動を通じて、豊岡の自然を体験します。
- ・「子どもの野生復帰事業」は「植村直己冒険館機能強化事業」に引き継がれることになり、2020年度の冒険館リニューアルオープンに伴い、事業が終了しました。

## (2) 学べる地域環境

環境学習フィールドとしても活用できるよう、ビオトープ水田の設置を進めています。

2021年度は管理（年間通じての湛水等）が困難なビオトープを水田ビオトープ維持管理業務委託契約から外し、新たに八代、弘道、福住の3校区にビオトープが設置されました。

### 《市内各小学校区のビオトープ水田面積》

(単位: a)

地域	小学校	面積	地域	小学校	面積	地域	小学校	面積	地域	小学校	面積
豊岡	豊岡	0.0	豊岡	神美	160.2 (-84.4)	日高	府中	74.9	出石	弘道	7.5 (+7.5)
	八条	104.0 (-7.0)		城崎	0.0		八代	10.8 (+10.8)		福住	9.4 (+9.4)
	田鶴野	47.7		竹野	16.8		日高	41.5 (+0.7)		寺坂	42.0 (+10.2)
	三江	62.3 (-8.3)	中竹野	0.0	静修		0.0	小坂		0.0	
	五荘	232.2 (-38.5)	竹野南	0.0	三方		85.0 (+48.6)	小野		69.2 (-5.6)	
	新田	0.0	竹野南	0.0	清滝		19.1	但東	合橋	168.0 (-40.5)	
	中筋	17.2				高橋	0.0				
	港	5.2				資母	22.1				

※合計面積の推移は p.15 に掲載。数値下の ( ) は前年度との比較数値

※コウノトリ生息地保全対策事業におけるビオトープ設置分のみ記載

# Topics

## 「第6回コウノトリ未来・国際かいぎ」開催!

10月30日~31日、「第6回コウノトリ未来・国際かいぎ」を開催しました。繁殖地は豊岡から全国へ広がっている中、人の暮らしとの関係など新たな課題も生まれていることから、今回のかいぎではこれからの野生復帰の未来について語り合いました。「コウノトリの未来」「共生社会を目指して」「私たちの未来」と題したセッションごとに課題提示や意見交換が行われました。

エンディングでは、コウノトリ KIDS+の大井琴華さんが「コウノトリでつながった地域が取り組みを続け、ところを一つにし、人やコウノトリをはじめとする多くの命をつなげて【共に生きる社会】を作っていかなければなりません」と、「兵庫・豊岡宣言（抜粋）」を朗読されました。



## 2 2021 年度評価

### 評価

- コウノトリ KIDS クラブに定員以上の応募がある。
- 人と自然の共生を学ぶ高校の研究活動が定着している。

この調子で  
がんばろう



# 目標像⑧

## 市民みんなが、ごみの減量化を実践し、1人あたりの排出量が徐々に減っています

### 【主な取組みの方向】

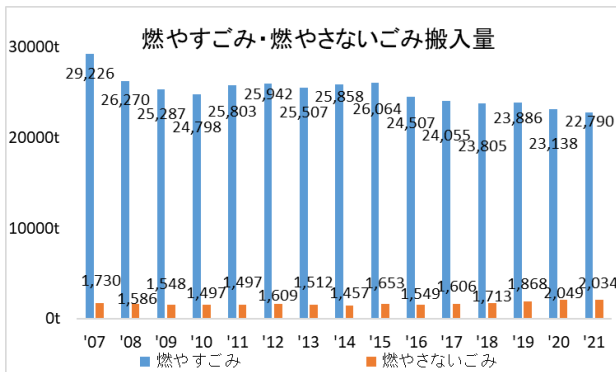
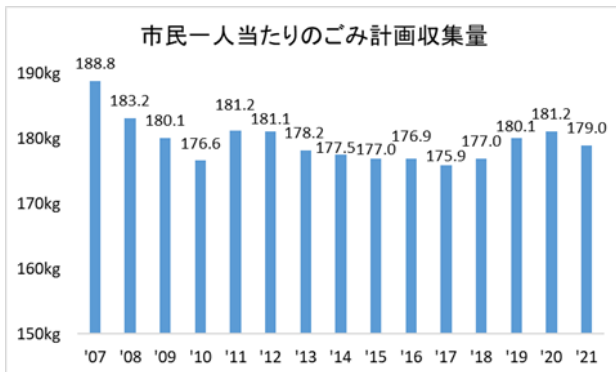
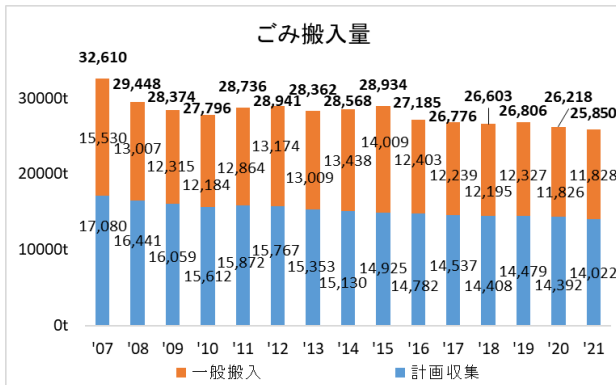
(2) (6) (9) (11) (12)

### 【具体イメージ】

資源ごみ回収ステーションが増えています／みんなが無駄遣いを減らし、分別を徹底することでごみの量が減少しています／生ごみは堆肥などに、廃食用油は燃料として利用され、資源やエネルギーの地域内循環が進んでいます／事業者は、ゼロエミッションの取組みを進めています

### I 主な指標の変化(2007～2021年度)

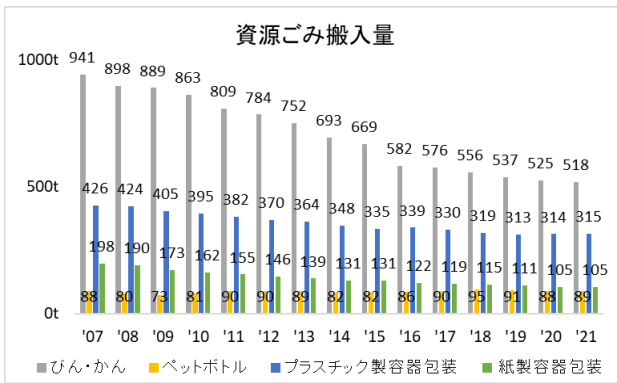
#### (1) ごみの量



#### 《豊岡市人口(各年度末値)》

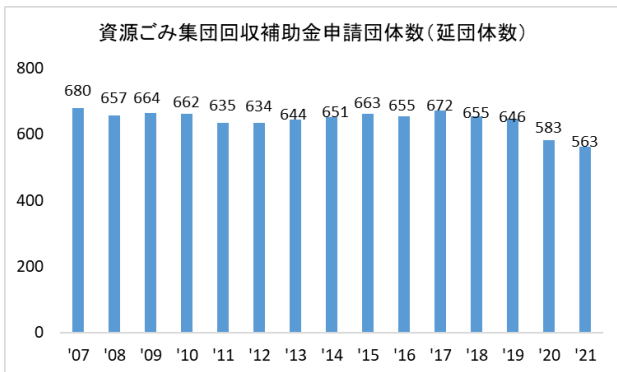
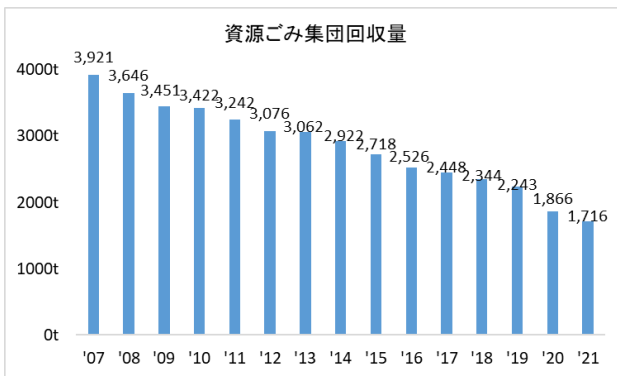
年度	人口	世帯
2007	90,443人	31,808世帯
2008	89,762人	31,936世帯
2009	89,169人	32,185世帯
2010	88,407人	32,313世帯
2011	87,585人	32,380世帯
2012	87,040人	32,586世帯
2013	86,173人	32,651世帯
2014	85,244人	32,788世帯
2015	84,337人	32,869世帯
2016	83,544人	33,043世帯
2017	82,624人	33,173世帯
2018	81,416人	33,145世帯
2019	80,416人	33,274世帯
2020	79,446人	33,421世帯
2021	78,348人	33,546世帯

- ・ごみの分類ごとの搬入量は、計画収集と一般搬入を合わせたものです。
- ・2016年4月から一部のごみの分別区分が下記の通り変わりました。
  - ①燃やすごみで指定袋に入らないものは粗大ごみ
  - ②燃やさないごみは、燃やさないごみ・蛍光灯・乾電池類・粗大ごみの4分類
  - ③1辺20cm以上の缶は燃やさないごみ
  - ④プラスチック製品(プラ製容器包装を除く)は、硬さに関わらず全て燃やすごみ
- ・人口は減少しているものの、世帯数が増加していることから、個別に収集するごみ量は増加する傾向にあります。



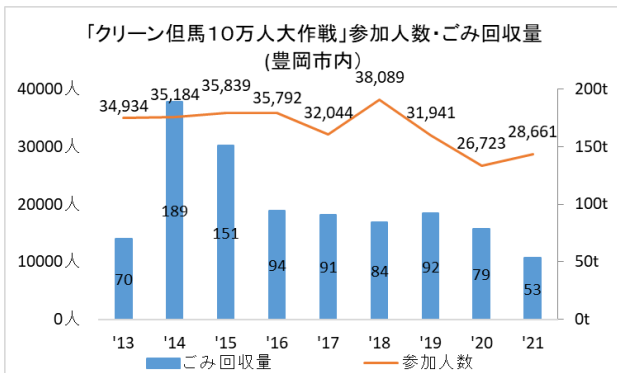
## (2) 資源ごみの回収

ほぼ全ての小・中学校で、資源ごみ回収(廃品回収)やリサイクル活動が行われています。

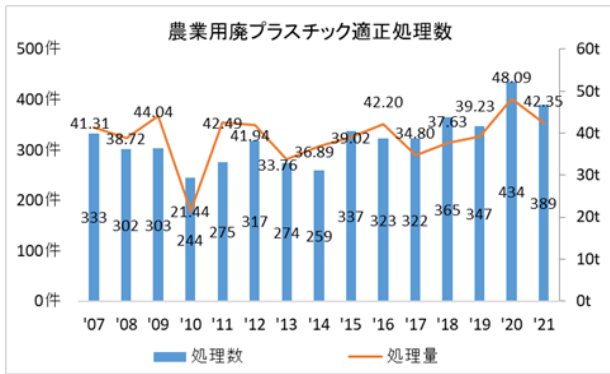


- ・豊岡市の住民で構成される自治会、子供会、老人会、PTA 等の営利を目的としない団体を対象に、資源ごみ集団回収事業補助金を交付しています。
- ・スーパーマーケット等の施設でも、資源ごみが回収されています。
- ・2013 年度以降、集団回収量は減少し続けています。
- ・2020 年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、資源ごみ集団回収が中止されたことにより回収量が一段と減少し、2021 年度も同水準となっています。
- ・補助金申請団体数=活動数となります。

## (3) ごみ回収の取組み



- ・1990 年から、毎年6月の第一日曜日を実施基準日として定め、住民が参加する清掃・美化活動「クリーン但馬10万人大作戦」を実施しています。
- ・地域住民がよりいっそうクリーンなまちづくりについて意識を高め、但馬を美しく住み心地の良い地域とすることを目指します。
- ・ごみ回収量は、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」のみで、水路の泥上げ作業で出た「土のう」は除いています。
- ・2020 年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響により参加人数が減少しましたが、2021 年度は増加しています。



- ・ビニールハウス等の農業用廃プラスチックは、年に一度持ち寄って集団処理が行われています。
- ・最終処分を担っている業者では、資源化(サーマルリサイクル、マテリアルリサイクル)処分しています。

【サーマルリサイクル】

焼却の際に発生する熱エネルギーを回収・利用

【マテリアルリサイクル】

原料として再生利用

## 「豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画」を策定しました！

# Topics

2022年3月、「豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画」を策定しました。有識者、事業者、市民、そして市内高校生たちが策定委員となり、1年間かけて内容を議論しました。計画目標を「豊かな環境を次世代まで守り続けます」とし、そのための数値目標として「2030年までに使い捨てプラスチックごみをゼロにする」と掲げています。

「知る」「出さない」「回収する」の3つの視点から、市民、事業者、学生、行政が取り組むアクションをまとめています。「マイバッグ・マイボトルの持参を徹底する」、「使い捨てプラスチック製品を受け取らない」、「清掃活動に参加する」など、誰もが今日からできるプラスチック削減の取り組みがあります。

【みんな一緒にワンモアアクション】をスローガンに、脱プラスチックに取り組ましましょう。



「豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画」については、市HP（右記二次元バーコード）からご覧いただけます。



## 2 2021年度評価

### 評価

○市民一人当たりのごみ計画収集量が減少している。

この調子で  
がんばろう

## 目標像⑨

# 市民みんなが、楽しみながら省エネ行動を実践し、再生可能エネルギーの利用も増えています

### 【主な取組みの方向】

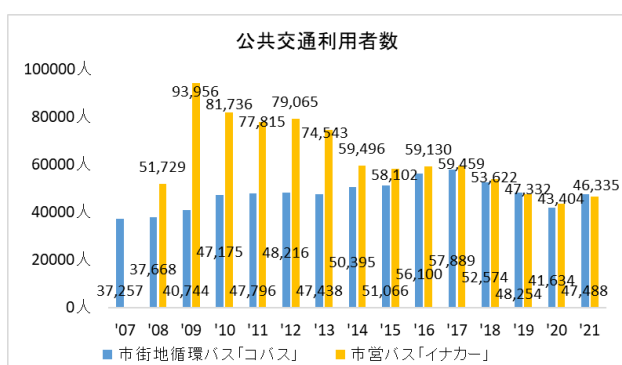
(6) (9) (12)

### 【具体イメージ】

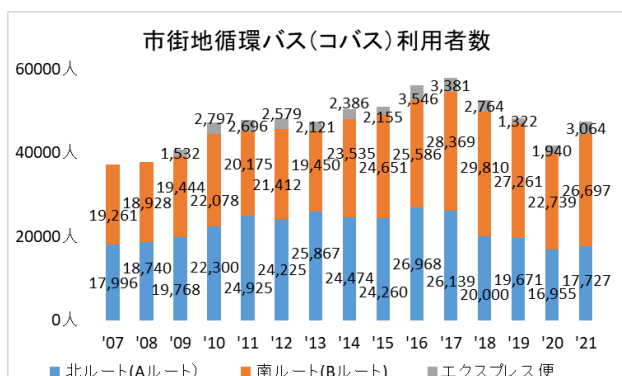
地球温暖化防止の意識が高まり、化石燃料の使用を減らす行動が広がっています／大人も子どもも省エネルギー行動が当たり前になっています／太陽光発電パネルの設置や電気自動車の導入、エコドライブの実践が進んでいます

## I 主な指標の変化(2007~2021 年度)

### (1) 公共交通の利用



- 公共交通機関を利用することで、各乗用車での化石燃料使用が減り、一人当たりの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量も減らすことができます。

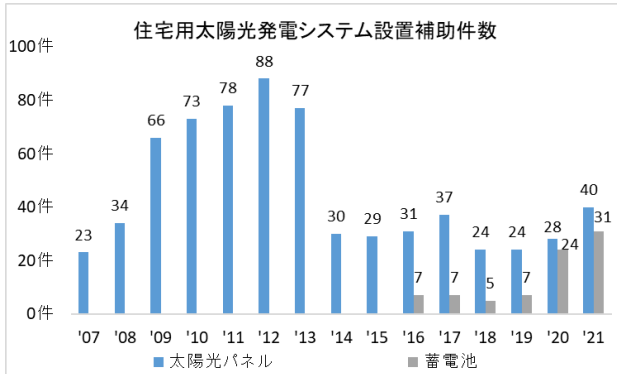


- 2018年度、コバスの走行ルートが、Aルート・Bルートから北ルート・南ルートに変更されました。
- ルート変更に伴い、5カ所のバス停を休止し、3カ所のバス停を新設。各ルートの乗継停留所を豊岡駅とアイティ前に集約しました。
- 2020年度は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛によりコバス利用者が減少したと考えられます。
- ノーマイカーデー参加者数は第4部58ページに記載しています。

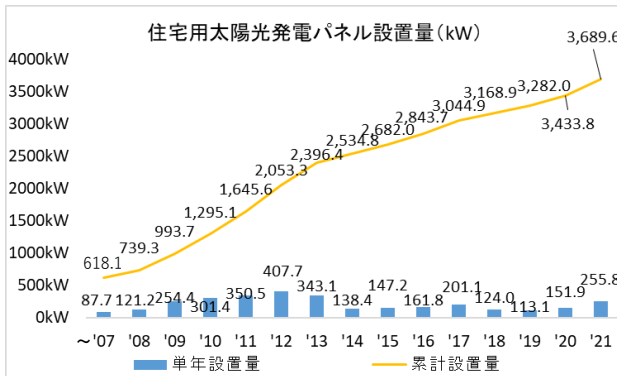
## (2) 太陽光発電

太陽光発電は、発電時に化石燃料を使用せず、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)も発生しないため、環境への負担が少ない電力です。生物多様性や景観への影響に対して、適切に配慮しながら導入していくことが求められます。

市の施設への太陽光発電システムの設置は1999年度から行っています。各地域の庁舎や小・中学校、コミュニティセンター等に設置されています。



- ・2002年度から住宅用太陽光発電システム設置補助制度が始まりました。
- ・2016年度から、蓄電池も補助対象となりました。
- ・太陽光パネルと一緒に蓄電池をつける場合も後から蓄電池だけをつける場合も対象です。
- ・2021年度から、事業者用太陽光発電システム設置補助制度が始まりました。

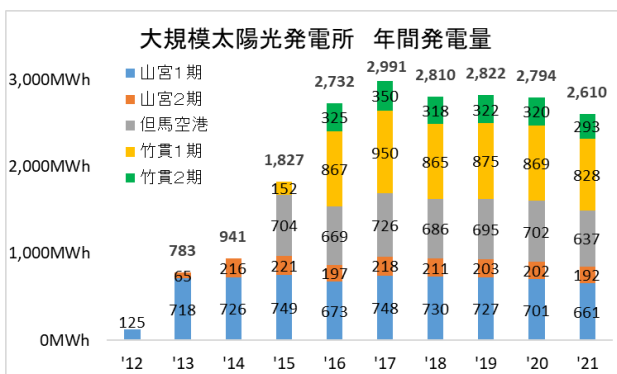


### 《事業者用太陽光発電システム設置補助》

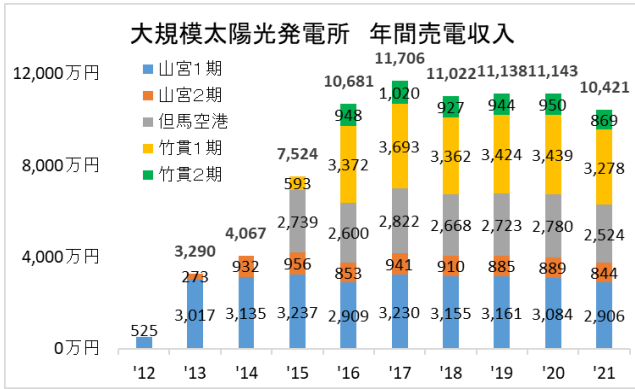
年度	設置事業者数	総設置量
2021	2者	25.1kW

### 《豊岡市所有大規模太陽光発電所》

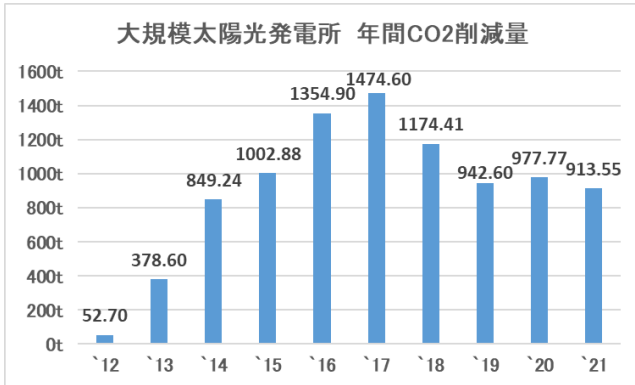
施設名	稼働開始	最大出力
豊岡エコバレー山宮地場ソーラー第1期	2012年度	681.0kW
豊岡エコバレー山宮地場ソーラー第2期	2013年度	318.8kW
コウノトリ但馬空港地場ソーラー	2013年度	677.6kW
豊岡エコバレー竹貫地場ソーラー第1期	2015年度	823.2kW
豊岡エコバレー竹貫地場ソーラー第2期	2015年度	299.9kW



- ・各大規模太陽光発電所は、固定価格買取制度（FIT制度）で20年間売電します。固定価格買取制度終了以降の発電については、公共施設等での電力活用を検討しています。



- ・大規模太陽光発電所で発電した電力の売電収入は、設備の維持管理費の他に、太陽光発電システム導入補助、木質バイオマス利用機器設置補助の費用等に充てています。



- ・CO2削減量は、【発電量 (kWh/年) × 調整後排出係数 (環境省が毎年公表)】の計算式で算出しています。
- ・調整後排出係数は関西電力の数値を使用しています。
- ・2021年度の調整後排出係数が2022年7月末時点で未公表のため、2020年度の調整後排出係数を代入して算出しています。

## Topics

### シーポッド 超小型電気自動車「C+POD」導入!

2021年7月、二酸化炭素の排出抑制とモビリティの電動化を普及促進するため、市職員が利用する公用車として超小型電気自動車(C+POD)を導入しました。C+PODは車両として利用できるのはもちろん、災害時や停電時にはバッテリーに蓄えた電気を非常用電源として利用することもできます。2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指し、公用車としての電気自動車導入をより一層推進していくことが求められます。



### 2021年度評価

#### 評価

- 住宅用太陽光発電設備の設置が広がっている。
- 大規模太陽光発電所が順調に発電している。

この調子で  
がんばろう

# 目標像⑩

## 環境をよくすることで経済が活性化され、交流も広がっています

### 【主な取組みの方向】

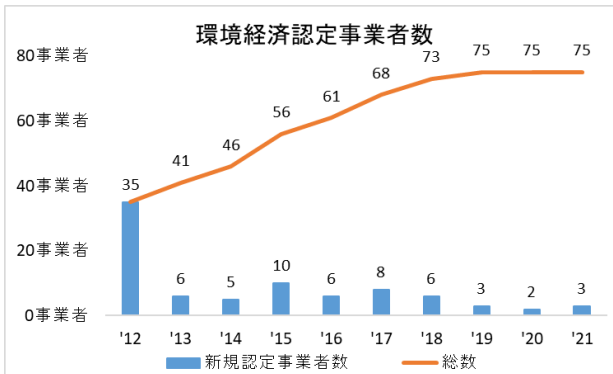
(6) (9) (12)

### 【具体イメージ】

「環境と経済の共鳴」の環境経済戦略がさらに進み、豊岡の知名度が上がっています／人・もの・情報が広域的に行き交う取組みが進んでいます／新たに受け入れた産業や企業、知や技の交流を通じて、豊岡の町が元気になっています

## I 主な指標の変化(2007~2021 年度)

### (1) 環境経済認定事業

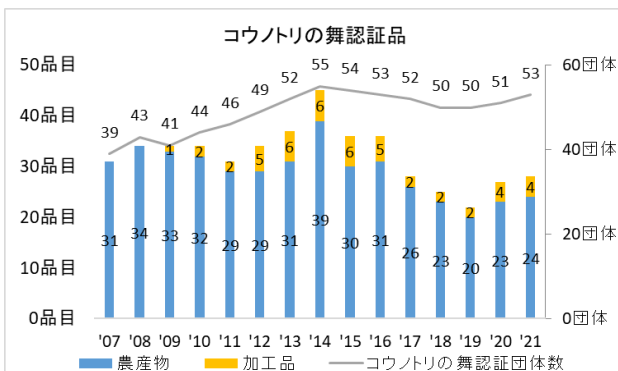


- ・市内の企業で、利益を追求する事業で環境が改善されるものを「環境経済事業認定」しています。
- ・認定事業の実績について、毎年報告が義務付けられており、認定事業が実施されなくなった場合、認定は取り下げられます。

### 《2021 年度環境経済認定事業者》

事業者名	認定事業名	事業内容
株式会社ビエント	再生可能エネルギー (RPF) の製造	市内で発生する廃棄物 (マテリアルリサイクル困難な古紙や廃プラスチック類) を主原料とした固形燃料を製造・販売する。
Pain de A	コウノトリの舞認定ブランド小麦を使った豊岡小麦パンの開発販売	コウノトリ舞認定ブランド小麦をはじめ、材料の全てを豊岡市産にこだわった「豊岡小麦パン」を製造販売する。
但馬米穀株式会社	ソーラーシェアリング (営農型太陽光発電) 事業「発電と農作物の栽培に太陽光をシェアする」	農地にソーラーパネルを設置し、農業と太陽光発電の両立を図る。発電したエネルギーは農業設備や地域の電力供給としても利用する。

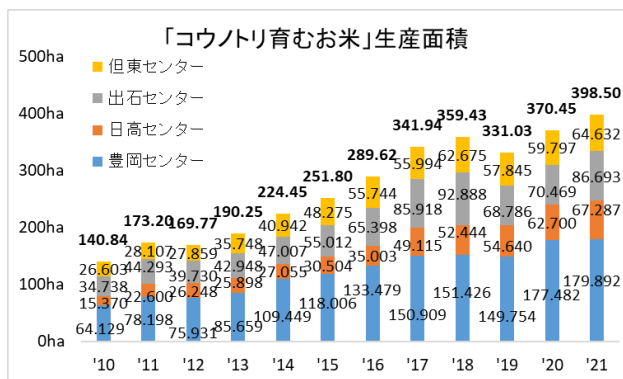
### (2) コウノトリの舞



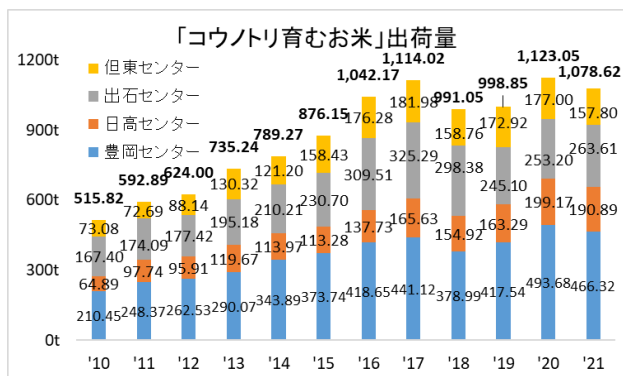
- ・2021 年度の登録品目 (28 品目)

米 (うるち、酒、もち)、レタス、コマツナ、ハウレンソウ、小麦、ソバ、トマト、バレイショ、シュンギク、だいこん、キャベツ、黒大豆枝豆、大豆、ショウガ、ブルーベリー、ぶどう、ニンジン、オクラ、タマネギ、トウモロコシ、ネギ (青ねぎ、葉ねぎ)、チンゲンサイ、ピーマン、水菜、生姜シロップ、生姜しぼり汁、ブルーベリーソース、ブルーベリージャム

### (3) コウノトリ育むお米



・JA たじま営農生活センターごとのデータです。

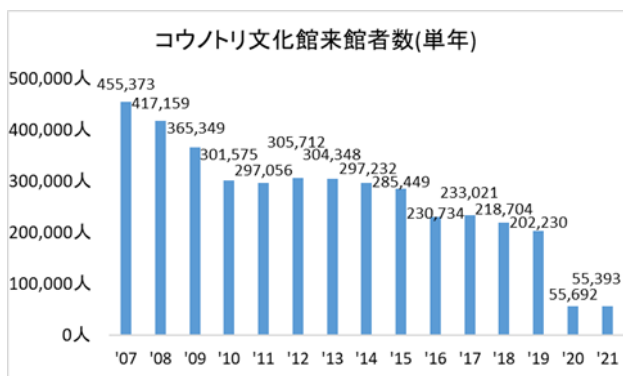


・コウノトリ育むお米は海外でも販売されています。

#### 《コウノトリ育むお米の海外への輸出状況》

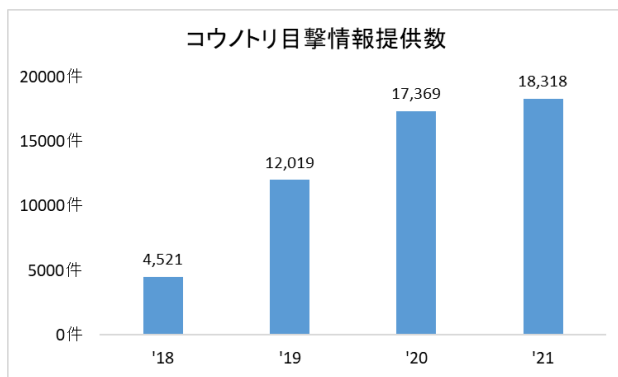
年度	輸出国・地域(国・地域数)	輸出货量
2016	アメリカ、シンガポール (2)	1.50t
2017	アメリカ、シンガポール、香港 (3)	7.80t
2018	アメリカ、シンガポール、香港、オーストラリア、ドバイ首長国 (5)	17.16t
2019	アメリカ、シンガポール、香港、オーストラリア、ドバイ首長国、台湾 (6)	17.27t
2020	アメリカ、シンガポール、香港、オーストラリア、ドバイ首長国、台湾、スイス、フランス (8)	22.23t
2021	アメリカ、シンガポール、香港、オーストラリア、ドバイ首長国、スイス、フランス、オランダ (8)	18.60t

### (4) 人・もの・情報の交流



- ・近年、ツアー等の団体客が減少していますが個人旅行者は定着しています。
- ・2006年 100万人達成
- ・2008年 200万人達成
- ・2011年 300万人達成
- ・2014年 400万人達成
- ・2018年 500万人達成
- ・2020年度及び2021年度は、緊急事態宣言中の閉館により、来館者数が減少しました。





- ・市民参加によるコウノトリのモニタリング  
「コウノトリ市民科学」には、全国からコウノトリの目撃情報が提供されています。
  - ・コウノトリの野外個体数増加に併せて、目撃情報提供数も増加しています。
- 【出典：コウノトリ市民科学まとめ(2022.3月発行)】

### <宿泊を伴う市外からのボランティア活動による交流・地域活性>

市外の企業や団体、学校が環境保全活動ボランティアの際に、宿泊や観光も行うことで、地域の活性化につながります。ボランティアでは、湿地の乾燥化を防ぐために池を作ったり水路を広げる保全作業や外来種駆除等を行っています。2020年度は新型コロナウイルス感染症対策により、ボランティア数が1件に留まりましたが、2021年度は3件に増加しました。

#### 《宿泊を伴う市外からのボランティア件数》

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
件数	3件	3件	3件	3件	5件	6件	4件	5件	1件	3件

## 「世界の持続可能な観光地トップ100選2021」に豊岡が選出されました!

世界の持続可能な観光地を認証する国際団体「グリーン・デスティネーションズ」の表彰制度『世界の持続可能な観光地トップ100選2021』に豊岡市が選出されました。観光マネジメント戦略である「大交流ビジョンの策定やその戦略方針」や、各種行動計画策定時の「市民の計画への参画」等が高く評価されました。さらに、地域の優れた取組み事例として、人とコウノトリの共生を目指したまちづくりにおける環境保全・地域社会・地域経済が好循環し、他地域へも広がっていることが高く評価されました。

選出されたことにより、持続可能な観光地として国際的に認知され、SDGsや持続可能な観光に関心の高い観光客の増加につながることが期待されます。今後も、持続可能な観光地「豊岡」であり続けられるよう、地域の皆さんと共に考え、取り組んでいきます。



Topics

## 2 2021年度評価

### 評価

- 環境経済認定事業が浸透している。
- コウノトリ育むお米の海外輸出が順調に進んでいる。

この調子で  
がんばろう

